



いつでも！どこでも！だれでも使える！ 授業づくりのステップ 1・2・3 Vol.1

平成 29 年 2 月 佐賀県教育委員会

このリーフレットは、子どもたちにとってわかりやすい「授業づくり」に向け、佐賀県の先生方の授業がよりステップアップできるよう活用してもらうことを目的に作成しました。

それぞれの先生方が、子どもたち一人ひとりの「わかりたい」、「できるようになりたい」という思いや願いを大切にしながら、日々の授業を振り返るとともに、授業をさらにステップアップさせることで、子どもたちの「学ぶ力」をより一層向上させることができます。

全ての小中学校の先生方の全ての授業において、子どもたちにとってわかりやすい授業、力の付く授業を目指していきましょう。

使えるポイント その1



・いつでも使えます！

授業の前に、教材研究に取り組む時に、指導案をつくる時に、いつでも使えます。

・どこでも使えます！

教室で、職員室で、校内研修で、どこでも使えます。

・だれでも使えます！

経験豊富な先生も、若手の先生も、だれでも使えます。



使えるポイント その2

日々の授業づくりにおける大切な事柄の中から、
「めあて」、「まとめ」、「書く活動」、「話し合う活動」、「振り返り」の
5つに焦点をあて、それぞれについて3つのステップで示しています。
今日の授業はどのステップなのか、チェックしてみましょう。

■ステップ1

佐賀県の多くの先生方が、すでに実践していると考えられるステップです。

■ステップ2

佐賀県のスタンダードとして、全ての先生方に実践してほしいと考えるステップです。

■ステップ3

ステップ2を実践している先生方に、次に目指してほしいと考えるステップです。

授業づくりのステップ:「めあて」の提示について

授業の中で「めあて」を示す目的は、この授業で何ができるようになるか、何をどのように考えればよいのかという、学習の目的や方向性を示し、1時間の見通しを子どもにもたせるためです。そのためには、教師がその授業で子どもに付けさせたい力を明確にする必要があります。


■ステップ1 授業の中で「めあて」を板書し、子どもに示していますか？


■ステップ2 「めあて」は、子どもにとって理解できる内容になっていますか？

■ステップ3 「めあて」は、1時間の授業で何ができるようになるか、何をどのように考えればよいのかなど、子どもが具体的にイメージできるものになっていますか？

※例えば…



長方形の面積は求めることができるけど、のような形の図形は、どうやって面積を求めればよいのかなあ。

じゃあ、今日の学習のめあては、「の面積の求め方を考えて説明しよう」でいいですか？


授業づくりのステップ:学習内容の「まとめ」について

授業の後半に学習内容の「まとめ」を行う目的は、「めあて」に沿って学習したことを客観的に見つめ直し、短い言葉でまとめることで、「何がわかったのか」「結果からどんなことが言えるのか」「この先に生かせることはどんなことか」など、子どもが、学んだことを具体的な力として自覚できるようにするためです。

■ステップ1 学習内容の「まとめ」を板書していますか？

■ステップ2 「まとめ」は、「めあて」に対応したものになっていますか？

■ステップ3 子どもの発言を取り上げながら「まとめ」を行うことやキーワード・文の書き出しなどを示して、子どもが「まとめ」を行うことができるようにしていますか？

なるほど。じゃあ、今日の学習のまとめは、「の面積は、長方形にすれば求めることができる」でいいですか。

※例えば…



2つに分けたり、足りないところにつけくわえたりすれば面積を求められました。

長方形にして考えたらいいと思います。

授業づくりのステップ:「書く活動」の設定について



授業の中で「書く活動」を取り入れる目的は、自分の考えを整理するため、考えたことについて話し合う準備のため、自分の考えを表現するためなど様々です。

いずれの場合も、活動の目的をはっきりさせた上で、必要に応じて取り入れることが大切です。

■ステップ1

必要に応じて、子どもが一人で考えて「書く活動」を取り入れていますか？

■ステップ2

必要な条件や具体的な書き方などを示した上で、「書く活動」に取り組むことができるようにしていますか？

■ステップ3

自分が書いたものが「めあて」に沿った内容になっているかなどを、子どもが見直せるような手立てをとっていますか？

□授業後は

子どもが書いたものにコメントを記すなどして、先生による評価を子どもに返していますか？

授業づくりのステップ:「話し合う活動」の設定について



授業の中で「話し合う活動」を取り入れる目的は、お互いの考えを出し合い、認め合いながらそれらの共通点や相違点などを比較・検討し合うことなどを通して、考えを整理したり考えの幅を広げたりするためです。

●少人数で「話し合う活動」●

■ステップ1

必要に応じて、少人数で「話し合う活動」を取り入れていますか？

■ステップ2

話し合いの目的や進め方、時間などを示していますか？

■ステップ3

話し合う内容を魅力的なものにし、話し合う必然性をもたせるなど、子どもが意欲的に「話し合う活動」を進めることができるようにしていますか？



●学級全体で「話し合う活動」●

■ステップ1

子どもが考えを発表し、その内容を学級全体で共有していますか？

■ステップ2

子どもと子どもの考えをつなぎ、子ども同士の交流を通して「話し合う活動」を進めていますか？

■ステップ3

子どもが出した考えを、共通性や関連性などの観点で整理し、みんなに示していますか？

授業づくりのステップ: 授業の「振り返り」について

授業の最後に「振り返り」を行う目的は、子ども自身が、学習の達成感を味わい、学んだ内容を再確認するなど、次時につながる学習意欲と見通しをもつようにするためです。

教師は、子どもの振り返りを、個別の指導に役立て、次時以降の授業づくりに生かすことが大切です。

■ステップ1

授業の最後に、子どもが「振り返り」を行うようにしていますか？

■ステップ2


「振り返り」を行う前に、学習内容の理解や学習活動への取り組み方など、何について振り返ればよいかを、子どもに示していますか？

■ステップ3

「めあて」に沿った振り返りの視点や判断する基準などを明確に示したうえで、子どもが「振り返り」を行うことができるようにしていますか？

※例えば…



今日の学習のめあては、「の面積の求め方を考えて説明しよう」でしたね。どのような考え方をしたのか、わかったことやできるようになったことは何なのか、などについて振り返ってみましょう。

□授業後は

子どもの「振り返り」に目を通し、成長が見られた子どもをほめたり気になる子どもがいたら、すぐに対応したりしていますか？

授業づくりの重要なポイント

授業づくりにおいて重要なポイントはたくさんありますが、以下のようなことは、特に大切にしたい事柄です。日々の授業はどうか、チェックしてみてください。

- 話し方や聞き方のルールなど、学習規律の定着を図り、落ち着いて学習に取り組める「環境づくり」に配慮していますか？
- 学習活動を適切に時間配分するなど、1時間の中で、「振り返り」まで効果的に指導できるよう「タイムマネジメント」に留意していますか？
- 子どもができる部分は任せるなど、教師が出すぎないように留意していますか？
- 1時間の学習内容や子どもたちの考えの共通点、相違点、関連などが一目でわかるように、「意図的・計画的な板書」を心がけていますか？
- 授業の中で、何を、どのような順番で行うのか、1時間の学習活動の見通しが具体的にわかるよう、「学習の流れ」を黒板に示すなど配慮していますか？
- 授業の予習や復習を宿題にするなど、「授業と家庭学習のつながり」を意識した授業づくりを行っていますか？